

## 令和6年度裾野市地域公共交通活性化協議会(第1回)議事録

日時:令和6年5月30日(木)14:30~16:30

場所:裾野市役所 4階会議室

・出席者 別添資料 No.1のとおり

### 1. 開会

### 2. 役員選出(会長、副会長、監事の選出)について

会長:篠塚建設部長、副会長:鈴木市長戦略部長、監事 須山地区区長会 勝又氏

### 3. 会長挨拶

### 4. 委員及び出席者紹介

### 5. 報告事項

#### (1) 令和5年度の議事結果等について(資料 No.3)

資料 No.3のとおり、令和5年度の協議会での協議事項について説明。

《質疑等》

特に無し。

#### (2) 令和5年度事業実績等について(資料 No.4, 5)

資料 No.4, 5について事業実績の説明。

《質疑等》

藤井委員:資料4の平均乗車数のみかたをおしえてほしい

資料を見ただけだとわからないので、注意書きを付けるように

事務局:青葉台ルートが毎日走っているため1日の平均だとこの数値になる

岩井委員:オンライン申請の数は?

事務局:R5 はまだオンラインないが、R6 は 50 件くらい

中川委員:交付した人からの利用率 14.3%でただしい?

事務局:そのとおり

### 6. 議事

#### (1) 令和5年度決算・監査報告・令和6年度予算について(資料 No.6)

承認

《質疑等》

特に無し。

(2) 裾野市地域公共交通計画の事業実施状況の評価 (資料 No.7)

承認

≪質疑等≫

特に無し。

(3) 市内循環線バスの再編について (資料 No.8・9)

≪質疑等≫

八木委員:東西 N38 南北 N3 と南北の回収が少ないが、南北の配布数は分かるか

(高齢者バス・タクシー助成券について)使ってる方は同じ方が多いので、そういった方に現在より手厚く補助する方法はないか。他市町では手厚く補助しているところもある

事務局:単純な配布数は今は不明だが、乗客は少なかった。助成券については、ご意見として参考にしたい。

運輸支局:スケジュール 10 月変更の場合、協議会で合意を図って、2 か月前までに申請してもらいたい。

事務局:了。

挙手多数により承認

藤井委員:丁寧に調査の上、サービス維持確保の補助事業の最終手段であることを受け止めて事務局が調査したのだと思う。1 便あたりの乗客、試験運行前後で実利用者は継続して使っていて、朝夕は新たな利用者がみえてきているところは良い。新規利用者をどう位置付けるかが検討事項。

裾野市は自主運行バスをやめて、今市内循環線が動いているが、目標維持の考えと、ルートなどの変更によって、実運行がどの程度できるか考えて、地域で残す公共交通として検討してもらいたい。利用者の声を聴いている取り組みは評価できる。どういうサービスが地域に根付くか、行政でできるサービスプラスアルファでどこまでできるか考えていってほしい。

## 7. その他

(1) 令和6年度協議会開催予定等について

運輸支局からのスケジュールを参考に、10 月の再編前にもう一度実施する予定。

(2)ハッピーライド in 静岡プロジェクト(静岡県地域交通課)【資料No.10】

バスの利用者がコロナ渦から戻り切っていない、事業担い手不足ことから始めるもの。

小学生を中心とした地域住民のバス利用の促進と、運転従事者に「感謝とリスペクト」する気持ちを育み、将来にわたり社会全体で地域公共交通を支える意識を醸成。皆でバスに乗り合うことによる環境負荷の低減につながる。全県規模では事例の無い取り組み。

以前、静岡市での実施例では収入が支出を上回った。こどもに同伴して大人も乗るためと考える。

## 8. 閉会